

# 声優芸能科 声優養成コース 受講科目一覧 1年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	身体感情表現 I	74	2	4
講義	音声技法 I	74	2	4
講義	言語感情表現 I	74	2	4
演習	課題台本ゼミナール I	74	2	4
講義	ヴォーカル基礎知識 I	74	2	4
実習	ヴォーカル I	74	2	2
演習	ボディサイエンス I	74	2	4
実習	ダンス基礎	74	2	2
講義	ナレーション基礎	74	2	4
講義	声優基礎 I	74	2	4
実習	アフレコ I	74	2	2
実習	分野別実習 I	74	2	2
合計		888	24	40

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	身体感情表現 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	身体感情表現 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡の演劇劇団に所属。俳優として22年間活動。東京、福岡などで現在も活動中。舞台演劇・TVドラマ・TVCMに自ら出演の他、CMナレーションや民放番組ナレーションも担当。俳優としての表現力と舞台経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
①シアターゲームやインプロワークショップを実施、都度フィードバックを行って感情表現力を高めていきます。 ②エチュードを行いながら、様々なシチュエーションでの適切な感情レベルを探っていきます。 ③喜怒哀楽を、身体・セリフの効果的な使い方と適切に伝えられるように表現していきます。					
<b>到達目標</b>					
・表現の下地となる豊かな感情・喜怒哀楽を、他人が見て理解できるレベルで表現、またその強弱をも表現できるような技術を習得する。 ・喜怒哀楽以外の心の中にある様々な感情を、外に向かって表現する方法・技術を習得する。 ・演劇・舞台などにおける基礎を身につけ、人前で表現する羞恥心をとりのぞいていく。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・インプロワークショップ ・集中力を高める訓練
【前期】 5～8回目	・シアターゲーム(STOP&GO、魔法使いと弟子など)
【前期】 9～12回目	・口語演劇 ・言葉を使った感情表現
【前期】 13～16回目	・エチュードを中心に、表情を使った感情表現
【前期】 17～19回目	・エチュードを中心に、表情を使った感情表現② ■前期試験：喜怒哀楽エチュード・感情が、表情や身体表現で他人に適切に伝わっているかチェック
【後期】 20～23回目	・エネルギー放出 ・脚本演技 ※シアターゲームは引き続き実施
【後期】 24～27回目	・エネルギー放出2 ・脚本演技→進級制作に向けた脚本選定 ※様々な役を交代で演じていく
【後期】 28～31回目	・他人から見た自分を研究 ・脚本演技 ※一つの決まった役を演じていく
【後期】 32～35回目	・進級制作に向けて ※一つの作品を仕上げている
【後期】 36～37回目	・進級制作に向けて ※一つの作品を仕上げている ■後期試験：脚本演技・適切な感情レベルの表現がきちんとできているかチェック
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 感情表現 / 感情コントロール / エネルギー放出 / 自己理解」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	演技に必要な要素のひとつに「リアリティ」があります。適切なシチュエーションには、適切な感情の表現レベルがあり、それがきちんと観客に伝わると「リアリティ」が生まれます。 人の心を動かすためには、役者自身の心が動いていないといけません。 そのために必要なレッスンは「身体感情表現」です。人に見せまいとしていた感情を外へ表現することができるようになります。頭で演じるのではなく、心で演じ、リアリティのある演技のできる役者を目指しましょう。
備考	都度用意した脚本を使用。

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音声技法 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音声技法 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優基礎コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	声優事務所「ぷろだくしょんバオバブ」所属。TVアニメ「恋姫†無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」など出演作品多数。アニメーション声優、洋画吹替声優、舞台、CMナレーションなどで、2000年より活動中、現在に至る。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
<p>①「日本語の発声レッスン」の教材等を使い、発声・発音の基礎を学びます。                  ②表現の基礎となる、言葉に対する知識の幅を拡げ実践できるようにしていきます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>・標準語の習得。                  ・声、言葉を使うプロとして土台となる、発声、発音の基礎を、頭と身体すべてで理解し実践していくことで、表現者に必要な知識と技術を修得する。                  ・一人一人長所と短所を知覚し、それを伸ばしていく。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・腹式呼吸・呼吸調節・調音・母音・連母音・母音の無声化・鼻濁音・発声基礎練習・外郎売を取り入れる
【前期】 5～8回目	・腹式呼吸・呼吸調節・発声基礎練習・調音練習・外郎売
【前期】 9～12回目	・腹式呼吸・呼吸調節・発声基礎練習・調音練習 ・外郎売の暗唱の完成
【前期】 13～16回目	・腹式呼吸・呼吸調節・発声基礎練習・調音練習・外郎売の暗唱 ■前期試験：前期内容の理解度を含めた実技テスト、筆記テスト
【前期】 17～19回目	夏休み明け確認{腹式呼吸・呼吸調節・調音・母音・連母音・母音の無声化・鼻濁音・発声基礎練習(外郎売)}
【後期】 20～23回目	・腹式呼吸・呼吸調節・調音・母音・連母音・母音の無声化・鼻濁音・発声基礎練習(外郎売) ・個々の五十音の発声、発音チェック、課題徹底。
【後期】 24～27回目	・発声基礎練習・個々の五十音の発声、発音の課題徹底。
【後期】 28～31回目	・共通課題作品練習・発声基礎練習
【後期】 32～35回目	■後期試験：全期通して理解力のチェックおよび作品読解を含む音読実技試験：発声基礎練習・個人課題確認、実践徹底。
【後期】 36～37回目	・発声基礎練習・個人課題振り返り、2年へ向け春休み課題の周知
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 発声 / 発音 / 授業理解度 / 基礎訓練の取り組み方」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	言葉で表現する人にとって、基礎になる発声・発音の学びは、決して欠かすことは出来ません。個々によりその方法は細かく違いますが、自分の体とメンタリティーと向き合い、プロの表現者として、一人の社会人として、魅力のある言葉を話せる人を目指してください。常にご自分を磨いていきましょう。
備考	「日本語の発声レッスン」「日本語発声アクセント辞典」等 使用

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	言語感情表現 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	言語感情表現 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、外画「ザ・パシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
①イメージを相手に分かりやすく伝えられる力を身につける ②「演じるというのとは一体どういうことなのか」「演技しない演技」「心を動かす」ことを学んでいく。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身と向き合い自分を知る。</li> <li>・言葉を使って喜怒哀楽の感情を表現するために必要な技術を身につける。</li> <li>・様々な感情を経験することで表現を豊かにする。</li> <li>・自分自身をさらけ出す意思と覚悟の習得。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・自分自身の長所、短所について考える。 ・リラクゼーション
【前期】 5～8回目	・スピーチ ・1対2ディベート(テンション・パワー)
【前期】 9～12回目	・イメージを体感、実感するトレーニング
【前期】 13～16回目	・基本的情緒 ・短い台詞を使った感情表現トレーニング
【前期】 17～19回目	■前期試験:課題台本 ・試験課題の振り返り
【後期】 20～23回目	・前期振り返り ・掛け合い台詞(伝える技術、聴く技術)
【後期】 24～27回目	・媒体に合わせた表現技法
【後期】 28～31回目	・戯曲(シェークスピア、チェーホフなど)
【後期】 32～35回目	■後期試験:課題台本 ・試験課題の振り返り
【後期】 36～37回目	・1年振り返り ・弱点克服、強化
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 課題への取り組み / 表現力 / 対話 / 自身との向き合い方」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	表現力とは「自分の考えや思いなどを相手に分かりやすく伝える力」の事です。イメージが出来ていたとしても伝える力を鍛えないとプロにはなりません。まずその第一歩として、不安・羞恥心・過剰なプライド・功名心・優越感・劣等感などでかんじがらめに縛られた心を自由に解放しましょう。自分自身に対して心を開き、フリではなく、本当に心を動かす演技と一緒に目指しましょう！
備考	・都度用意した原稿を使用。

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	課題台本ゼミナール I		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	課題台本ゼミナール I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡の演劇劇団に所属。俳優として22年間活動。東京、福岡などで現在も活動中。舞台演劇・TVドラマ・TVCMに自ら出演の他、CMナレーションや民放番組ナレーションも担当。俳優としての表現力と舞台経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
<p>①年間3本以上の戯曲台本を使用し、役の心情や行動原理を理解すると共に、観客の目線を意識した演技を習得していきます。</p> <p>②舞台制作における板上での立ち居振る舞いや、制作スタッフの動きなどを学び、様々な方面から舞台というものを学習していきます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>声優や俳優に必要な表現力を、身体を使用した演劇を通じ習得する。</li> <li>台詞を読み上げ、身体を使って喜怒哀楽の感情を表現するために必要な技術を身につける。</li> <li>演劇に必要な基礎としての発声・滑舌・姿勢・体幹を手に入れる。</li> <li>脚本をしっかりと読み取り、役の感情を的確に表現できる。</li> <li>役者として、制作スタッフとの連携をもって作品が完成するということを理解して行動する。</li> </ul>					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～4回目	・演劇基礎ワークショップ ・脚本を使用した演技□				
【前期】 5～8回目	・脚本を使用した演技(シーン立ち上げ・半立ち)				
【前期】 9～12回目	・エチュード(一本橋、押し売り 言葉限定等)				
【前期】 13～16回目	・脚本を使用した演技→セリフ入れ				
【前期】 17～19回目	・脚本を使用した演技 ■前期試験: 脚本演技				
【後期】 20～23回目	・進級制作に向けて※本読みと配役決め				
【後期】 24～27回目	・進級制作に向けて※半立ち稽古				
【後期】 28～31回目	・進級制作に向けて※立稽古、衣装決め				
【後期】 32～35回目	・進級制作に向けて※通し稽古、照明、PAとリハーサル				
【後期】 36～37回目	・進級制作に向けて ■後期試験: 脚本演技。				
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 台詞まわし / 姿勢・体幹 / 協調性 / 脚本解釈」の5項目の到達度を総合的に評価する。				
学生へのメッセージ	観客に想いを伝えるためには、発声、滑舌などの基礎を身につけ、文脈に沿った演技ができているかが大切です。また演技の邪魔をしない、しなやかな身体としっかりした体幹が必要となります。基本的なワークショップからひとつずつ丁寧に学び、総合的な演技力を習得していきましょう。				
備考	他都度用意した脚本を使用。				

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカル基礎知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	ヴォーカル基礎知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	Rickie-G のバックコーラスをつとめる他、シンガーとしてライブサポート、レコーディング、社歌やサウンドロゴ等の歌入れも行う。業界歴13年で、ミッキー吉野(コダイコ)、中西圭三、HY、島袋優(BEGIN)など大物アーティストとの共演も多数。上記の経歴を活かし、職業として求められる「音楽理論、基本的な発声、歌唱」の指導を行う。				
<b>授業概要</b>					
①ヴォーカルの基礎発声を、頭と体で学びます。 ②呼吸法、口の開け方、口角、喉仏の位置など、頭で理解し歌唱に対応した発声技術を習得します。 ③ウイスパーやビブラートなどのテクニックにも取り組みます。 ④基本的な音楽理論を学習し、音楽をアカデミックにとらえる力を付けます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌うための準備として、発声の仕組みを理解し正しい発声法を身につける。</li> <li>・声の響きの強弱や拡がりやコントロールできる体の使い方を習得する。</li> <li>・口角、唇、舌の動きの強化をする。</li> <li>・はっきりとした母音・子音の発音をするための、唇や舌、喉仏のコントロールができるようになる。</li> <li>・基礎的な音楽理論を理解する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・発声の仕組み、基本姿勢、音域チェック、声区基本発声
【前期】 5～8回目	・チェストボイス発声トレーニング(母音アオウエイ) ・音楽理論基礎(譜面の読み方)
【前期】 9～12回目	・ファルセット発声トレーニング(母音オ・子音FH) ・音楽理論基礎(調性・音階)
【前期】 13～16回目	・ヘッドボイス発声トレーニング(母音ウオイヤエ・子音GNM) ・音楽理論基礎(様々なリズム)
【前期】 17～19回目	・ヘッドボイス発声トレーニング(母音ウオイヤエ・子音GNM) ■前期試験: 発声の仕組み・自分の体の理解/チェストボイス・ファルセット・ヘッドボイスチェック/理論理解度チェック
【後期】 20～23回目	・ミドルボイス発声トレーニング・スライド ・音楽理論基礎(ハーモニー)
【後期】 24～27回目	・リズム発声トレーニング(クリック・オモテウラ・ファンク・三連系) ・音楽理論基礎(楽曲のジャンル)
【後期】 28～31回目	・子音発声トレーニング(唇音MBP・舌音SZTDNR・牙音KG) ・音楽理論基礎(楽曲の構成)
【後期】 32～35回目	・特殊発声トレーニング(ウイスパー・ビブラート・ディストーション)楽曲使用
【後期】 36～37回目	・特殊発声トレーニング(ウイスパー・ビブラート・ディストーション)楽曲使用② ■後期試験: 唇・舌・牙音の理解/リズム発声・特殊発声のチェック/理論理解度チェック
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 音楽理論理解 / 発声 / beat感 / 母音子音」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	発声は正しいトレーニングのもとに行われなくては、効果もなく逆に喉を傷めてしまいます。将来声の仕事に就くためにとても大切な科目です。発声に必要な様々な筋肉がありますが、セリフを言うときや歌を歌うときに自在に筋肉が使えるように、普段から鍛えておかなければなりません。正しい発声法を身につけて、無理なく自分の音域も拡げていきましょう。また、楽譜を渡されてもすぐに歌えるように、音楽理論も並行して学んでいきます。
備考	必要に応じて、CDや楽譜などを使用。

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカル基礎知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	ヴォーカル基礎知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	The 8th Music Revolution Hi-Gain大会でグランプリを獲得。・V3新人オーディション20thファイナリストに選出)そのポテンシャルの高さを披露。2012年には、Fukuoka Music Factoryの第6弾ファイナルアーティストに選出される。2016佐賀年気球世界選手権応援ソングに「Life」が採用される。2020年配信弾き語りワンマンライブ「Voyage」を開催。現代のアーティストに必要な知識を盛り込んだ講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
①ヴォーカルの基礎発声を、頭と体で学びます。 ②呼吸法、口の開け方、口角、喉仏の位置など、頭で理解し歌唱に対応した発声技術を習得します。 ③ウイスパーやビブラートなどのテクニックにも取り組みます。 ④基本的な音楽理論を学習し、音楽をアカデミックにとらえる力を付けます。					
<b>到達目標</b>					
・歌うための準備として、発声の仕組みを理解し正しい発声法を身につける。 ・声の響きの強弱や揺がりをコントロールできる体の使い方を習得する。 ・口角、唇、舌の動きの強化をする。 ・はっきりとした母音・子音の発音をするための、唇や舌、喉仏のコントロールができるようになる。 ・基礎的な音楽理論を理解する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・発声の仕組み、基本姿勢、音域チェック、声区基本発声
【前期】 5～8回目	・チェストボイス発声トレーニング(母音アオウエイ) ・音楽理論基礎(譜面の読み方)
【前期】 9～12回目	・ファルセット発声トレーニング(母音オ・子音FH) ・音楽理論基礎(調性・音階)
【前期】 13～16回目	・ヘッドボイス発声トレーニング(母音ウオイヤエ・子音GNM) ・音楽理論基礎(様々なリズム)
【前期】 17～19回目	・ヘッドボイス発声トレーニング(母音ウオイヤエ・子音GNM) ■前期試験: 発声の仕組み・自分の体の理解/チェストボイス・ファルセット・ヘッドボイスチェック/理論理解度チェック
【後期】 20～23回目	・ミドルボイス発声トレーニング・スライド ・音楽理論基礎(ハーモニー)
【後期】 24～27回目	・リズム発声トレーニング(クリック・オモテウラ・ファンク・三連系) ・音楽理論基礎(楽曲のジャンル)
【後期】 28～31回目	・子音発声トレーニング(唇音MBP・舌音SZTDNR・牙音KG) ・音楽理論基礎(楽曲の構成)
【後期】 32～35回目	・特殊発声トレーニング(ウイスパー・ビブラート・ディストーション)楽曲使用
【後期】 36～37回目	・特殊発声トレーニング(ウイスパー・ビブラート・ディストーション)楽曲使用② ■後期試験: 唇・舌・牙音の理解/リズム発声・特殊発声のチェック/理論理解度チェック
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 音楽理論理解 / 発声 / beat感 / 母音子音」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	発声は正しいトレーニングのもとに行われなくては、効果もなく逆に喉を傷めてしまいます。将来声の仕事に就くためにとても大切な科目です。発声に必要な様々な筋肉がありますが、セリフを言うときや歌を歌うときに自在に筋肉が使えるように、普段から鍛えておかなければなりません。正しい発声法を身につけて、無理なく自分の音域も広げていきましょう。また、楽譜を渡されてもすぐに歌えるように、音楽理論も並行して学んでいきます。
備考	必要に応じて、CDや楽譜などを使用。

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカル I		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	ヴォーカル I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	Rickie-G のバックコーラスをつとめる他、シンガーとしてライブサポート、レコーディング、社歌やサウンドロゴ等の歌入れも行う。業界歴13年で、ミッキー吉野(コダイコ)、中西圭三、HY、島袋優(BEGIN)など大物アーティストとの共演も多数。上記の経歴を活かし、職業として求められる「音楽理論、基本的な発声、歌唱」の指導を行う。				
<b>授業概要</b>					
①歌唱のための基本技術(呼吸・発声・体の使い方)を学びます。 ②課題曲・自由曲を使って歌唱発声の強化・リズム感の強化をはかります。 ③上記で使用した楽曲を通じ、音感、ハーモニー感を学びます。 ④各コマで個人にフォーカスした時間を取り、弱点克服、長所強化をはかります。 ⑤12月のヴォーカルコンテストに向けてステージングの技術を学びます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい発声、発音、呼吸、体幹を身に着け、表現力と共に歌唱全体のクオリティーを上げる。</li> <li>オーディション等、今後、自身の武器として歌唱を使えるようにする。</li> <li>ハーモニーなどを通じ、チームワークや調和を感じ協調性を育てる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	基本発声(音感、リズムトレーニングなど)。自由曲を各々選定し歌唱実技。問題点を洗い出し、今度のトレーニングなどを方向性を説明。
【前期】 5～8回目	基本発声(リズムトレーニングなど)。課題曲①歌唱実技。音楽の基本となる要素のうちリズムにフォーカスしてリズム感を身に着ける。
【前期】 9～12回目	基本発声(ハーモニー、母音・子音の発声)。ミュージカル曲①歌唱実技。メロディーの中で言葉を立たせる方法を学ぶ。
【前期】 13～16回目	基本発声(呼吸、音感、リズム、ハーモニーなどを総合して)。前期1～4週で取り扱った自由曲を再度歌唱し、当初からの違いを明確に感じる。また、その時にできなかった部分をさらに深めて修得する。
【前期】 17～19回目	基本発声(総合)。課題曲②歌唱実技。表現力強化。 ■前期試験：前期で使用した楽曲を各々選定し、歌唱実技発表。リズム、歌唱の楽譜提示、実演。
【後期】 20～23回目	基本発声(総合)。1月のヴォーカル大会の楽曲選定。課題曲③歌唱実技。表現、パフォーマンス強化。
【後期】 24～27回目	基本発声(総合)。1月のヴォーカル大会の楽曲の歌唱実技。表現、ステージング察。
【後期】 28～31回目	基本発声(総合)。1月のヴォーカル大会の楽曲のクオリティー強化。総合的なステージングの考察。
【後期】 32～35回目	基本発声(総合)。ミュージカル曲②歌唱実技。総合的なステージングの考察。実演。
【後期】 36～37回目	基本発声(総合)。年間の復習、総まとめ。 ■後期試験：後期で使用した楽曲の歌唱実技発表。リズム、歌唱の楽譜提示、実演。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ハーモニー / 発声 / 表現 / リズム / パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	現代の声優にとって、歌を歌うことはもはや必須のスキルとなっております。演技の勉強から歌に活かせることもありますし、歌から演技に活かせることもたくさんあります。シンガーとしてだけでなく、総合的なパフォーマーとして成長できるようにサポートしていきますので、一緒に頑張ってください。
備考	都度必要な楽曲、リズム・ハーモニー譜を使用。

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	殺陣パフォーマンス I		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	ボディサイエンス I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	福岡を拠点に幅広いダンスジャンルで活躍中。2013年より某アーティスト専属バックダンサーを経て、AKB48、湘南乃風、倉木麻衣らと共演。現在はPVやCMに出演し、またミュージカル「刀剣乱舞」にも参加している。殺陣、バックダンサー、ミュージカルダンサー、振付師、ディレクターとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
<p>①筋肉トレーニング、ストレッチから始まり、自分の身体を使って感情を表現できるよう訓練していきます。</p> <p>②舞台やミュージカルに必要なアクションや殺陣を学びます。小道具の使い方や衣装の着付けについても学習していきます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小作品やPV作品、舞台作品での身体表現技術を習得する。</li> <li>・ストレッチ、筋力を強化するとともに、殺陣の基本やバランスを習得し、身体の使い方・リズム感を養う。</li> <li>・舞台、ミュージカルやライブステージで演舞できるよう、音楽に合わせた殺陣やアクションのコンビネーションを用いて、自己表現をする。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・ストレッチ・筋肉トレーニング・殺陣小道具の使い方
【前期】 5～8回目	・筋肉トレーニング・体幹トレーニング・アクション①・殺陣基本
【前期】 9～12回目	・殺陣小作品①
【前期】 13～16回目	・殺陣小作品② ・衣装着付け ・殺陣を使った小作品発表会→ライブウィーク発表
【前期】 17～19回目	・ミュージカルアクション小作品① ■前期試験: 役3分間の殺陣基本や実践を発表する。
【後期】 20～23回目	・殺陣復習 ・ミュージカルアクション小作品②
【後期】 24～27回目	・ミュージカルアクション小作品③ ・フィジカルトレーニング
【後期】 28～31回目	・作品精度練成 ・衣装着付け ・アクション撮影、フィードバック①
【後期】 32～35回目	・アクション撮影、フィードバック② ・殺陣復習
【後期】 36～37回目	殺陣復習、自由演技 ■後期試験: ミュージカルアクションやフォーメーション、自己表現の発表。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 体幹と個性 / 集団創造力 / 間 / 脚本理解力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	表現をする上で、土台となる身体を形作ることは非常に重要です。 殺陣を通してフィジカルを鍛えながら、自己の技術や魅せ方を学び、相手との呼吸や間合いを感じて成長して行きましょう。 作品と一緒に作っていくことの難しさ、楽しさを学び、集団、個人問わず表現出来るようになりましょう。
備考	都度楽曲CDを使用。また小道具として、殺陣用刀・竹刀を使用。

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンス基礎		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	ダンス基礎	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	ダンス歴 18年、ダンスインストラクター歴 9年。 ダンスチーム Mool(モール)に所属。福岡を拠点に AKB48、KAZU(BROWN SUGAR)、比花知春、Alice、fumika 等のバックアップダンサーをつとめる。HIPHOP、JAZZなど幅広いジャンルで活動中。 上記のダンサーとしての経歴を活かした、幅広い表現力を養う講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
<p>①ダンスに必要な柔軟性・基礎体力を強化しながら、リズム感を養っていきます。</p> <p>②基本的なステップと動きを反復練習します。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級公演や舞台脚本内でのダンス表現技術を習得する。</li> <li>・ストレッチ、筋力を強化するとともに、ダンスの基本ステップ、バランス、アイソレーションを習得、身体の使い方・リズム感を養う。</li> <li>・舞台、ミュージカルやライブステージで踊れるよう、ターンや基本ステップのコンビネーションを用いて、自己表現をする。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・ストレッチ・アイソレーション・リズムトレーニング ・筋力強化・体力強化
【前期】 5～8回目	・ストレッチ・アイソレーション・リズムトレーニング ・筋力強化・基本ステップ
【前期】 9～12回目	・HIPHOP基礎を中心に ・アイソレーション、基本ステップ
【前期】 13～16回目	・HIPHOP基礎を中心に ・基本ステップを含んだ振り付けを覚える
【前期】 17～19回目	・基本ステップを含んだ振り付けを覚える② ■前期試験: アイソレーションや基礎ステップの2分ほどの振り付けを覚え発表する
【後期】 20～23回目	・JAZZ基礎 ミュージカル等で必要なJAZZの要素を習得する
【後期】 24～27回目	・HIPHOP応用 ・JAZZ応用
【後期】 28～31回目	・舞台発表に向けて※ダンスの振り入れ
【後期】 32～35回目	・舞台発表に向けて※ダンスの振り入れ、フォーメーション編成
【後期】 36～37回目	・フォーメーションレッスン ■後期試験: 応用ステップを含んだ3分ほどの振り付けを覚え、自己表現を交え発表する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / アイソレーション / リズム感 / 基本ステップ / 自己表現」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年生では基本となるアイソレーションを中心にステップを覚えていきます。 舞台やミュージカル、ライブステージなど様々な分野で必要となるリズム感や身体を使っての表現力を磨いていきましょう。 そのためにも、身体能力の向上を目指して日々トレーニングしていきましょう。
備考	様々な楽曲を使用

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ナレーション基礎		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	ナレーション基礎	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、映画「ザ・パシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
<p>①商品として成り立つナレーション。現場での対応力を育成します。</p> <p>②様々な原稿を読み、ナレーションに必要な知識と技術を学んでいきます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人前での表現のすべてに必須な、標準語のアクセントのマスターし、アクセント感覚を磨く。</li> <li>・ナレーションに必要なプロミネンス・リズム・アーティキュレーション・ポーズの技術を習得。</li> <li>・イメージを具現化し正しい情報を伝達する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・声の共鳴・ブレスの強化(法性寺):年間通して実施 ・原稿についての考察、イメージの具現化
【前期】 5～8回目	・アナウンス原稿(文節・連文節・係り受け) ・日本国憲法前文(言葉のツブ立て・伝達)
【前期】 9～12回目	・詩の朗読(プロミネンス・リズム・アーティキュレーション・ポーズ)
【前期】 13～16回目	・商品が売れる、耳に残るナレーション(言い切り・音の流れ・切り替えなど)
【前期】 17～19回目	■前期試験:課題原稿 ・前期試験の振り返り
【後期】 20～23回目	・媒体に合わせた表現技法
【後期】 24～27回目	・映像やタイミングを合わせる技術
【後期】 28～31回目	・朗読(作品制作)
【後期】 32～35回目	■後期試験:課題原稿 ・後期試験の振り返り
【後期】 36～37回目	・苦手分野の克服 ・得意分野の確認
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 滑舌 / 伝達力 / 表現力 / 独自性」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	多種多様なナレーションがありますが、まずは内容を分かりやすく伝えられるようになる事が第一です。 正しいアクセントやイントネーション。聞き取りやすい発声。的確なリズム・間など、まずは基礎をしっかりと固めていきましょう。
備考	・都度用意した原稿を使用。

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	声優基礎 I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	声優基礎 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	声優事務所「ぷろだくしょんバオバブ」所属。TVアニメ「恋姫†無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」など出演作品多数。アニメーション声優、洋画吹替声優、舞台、CMナレーションなどで、2000年より活動中、現在に至る。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
①自分の考え・思いを、具体的なイメージを持って表現するために必要な言葉を、根底から見直し磨きます。 ②声優の仕事について、知識として学ぶ。 ③ラジオ生放送により、さらなるコミュニケーション能力を積み上げ、また時間感覚をつかんでいきます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事としてのプロの声優を知る。</li> <li>・何を相手にどう伝えるのかを追求、発見し、一役者、一人間としての気づきを増やす。</li> <li>・アニメ、声優業界について知識を持ち、自分の進路に活かす。</li> <li>・自己のセールスポイントを突き詰める。</li> <li>・自分を客観的・相対的に知ることで、自分の目標を達成するための将来の指針とする。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・目標達成シート作成。・自分との向き合い方を、コミュニケーションを通して学ぶ。・プレゼンテーション ・ビブリオバトル
【前期】 5～8回目	・自己分析。・プレゼンテーション ・テーマを持った文章表現。(考察を口語表現する。)
【前期】 9～12回目	・テーマを持った文章表現。・プレゼンテーション ・自己PR。質疑応答。模擬オーディション。
【前期】 13～16回目	・姿勢・ポージング・内面外面の表現力①・プレゼンテーション ■前期試験：時間制限を設けた自己PR。模擬オーディション形式。
【前期】 17～19回目	・自己PR②・プレゼンテーション
【後期】 20～23回目	・ラジオパーソナリティー実習・プレゼンテーション
【後期】 24～27回目	・ラジオパーソナリティー実習・プレゼンテーション
【後期】 28～31回目	・ラジオパーソナリティー実習・プレゼンテーション
【後期】 32～35回目	・ラジオパーソナリティー実習・プレゼンテーション ■後期試験：実技試験
【後期】 36～37回目	・目標達成シートの振り返り。・二年次へ向けて
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 自己PR/ 姿勢や魅せ方 / 授業に取り組む姿勢 / 言葉の表現力」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	「自分はどうような声優・俳優になりたいのか、その目的・目標は何か」に具体性を持ってください。その上で自分が将来仕事をする場所として、数多くある声優・俳優事務所を自ら知り選択して欲しいです。 “自分”を良く知り、“自分”と向き合い、自分を活かせる場所(セールスポイント)を徹底的に突き詰めていきましょう。
備考	都度用意した原稿・本を使用。

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アフレコ I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	アフレコ I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	声優事務所「ぷろだくしょんバオバブ」所属。TVアニメ「恋姫†無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」など出演作品多数。アニメーション声優、洋画吹替声優、舞台、CMナレーションなどで、2000年より活動中、現在に至る。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
<p>①ラジオドラマ、朗読、戯曲等を通して(演じる)ことに触れてイメージを膨らませ、ストーリーの読解・表現に繋げる。</p> <p>②レコーディングスタジオにてアフレコを行い、演技的アプローチ及び、マイクワークなど技術的アプローチを同時に学習していきます。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・台本の読解(世界観や役へのアプローチ)について深く学ぶ。</li> <li>・レコーディングスタジオでの音声収録を通して自身の声をよく知り、同時にマイクの使い方、スタジオでの立ち振る舞い方を身につける。</li> <li>・役(キャラクター)を自らの演技で生かす方法を自ら考え、作品作りに拘りを持つ人を目指す。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・会話・対話・性格・キャラクター解釈・文章読解を、無理なく思い切って表現として出す練習。
【前期】 5～8回目	・文章読解(台詞のやり取り、ストーリーの捉え方を学ぶ)
【前期】 9～12回目	・アニメアフレコについて ・アフレコ実習(スタジオワーク等)
【前期】 13～16回目	・お芝居における台詞の捉え方(台詞の距離感・対象・モノローグとは) ■前期試験:実技 ・文章読解など
【前期】 17～19回目	・お芝居における台詞の捉え方(台詞の距離感・対象・モノローグとは)②
【後期】 20～23回目	・ラジオドラマ実習(レコスタにて収録)
【後期】 24～27回目	・アニメアフレコ学習 ・アフレコ実習(スタジオ)
【後期】 28～31回目	・映画ドラマ学習
【後期】 32～35回目	・デモテープ(素材選定、練習) ■後期試験:デモテープ収録 ・アフレコ大会準備
【後期】 36～37回目	・アフレコ大会
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 適切な状況判断/ 演技力 / 授業に取り組む姿勢 / スタジオワーク」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アフレコも、身体全体を使って演じることに変わりはありません。 まず1年目は、とにかく自分にならうとしている声優という仕事は実際に何をするのか、何が必要なのかを知るために、全ての授業で学んだことをここで思い切り出し切ってみてください。レコーディングスタジオ実習では、実際に現場さながらのレッスンを少しづつ経験を積んでいきます。
備考	都度作成した原稿等使用。